

第 80 回担当理事会議事要録

日 時	2018 年 2 月 10 日（土） 13：30～16：00	
場 所	一般財団法人 ゆうちよ財団会議室 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-7-4	
出席者	会 長	米山 高生
	副会長	宮村健一郎
	総務担当理事	押谷 一
	同	吉田 浩
	同	鎌田 繁則
	同	所 道彦
	同	西垣 鳴人
	財務担当理事	柳原 光芳
	同	松本 直樹
	渉外担当理事	藤野 次雄
		(10 名)
	陪席	生活経済学会事務局

【審議事項】

- (第 1 号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について
- ・共同研究助成について
 - ・企画委員会編纂 PT について
 - ・学会 HP リニューアルについて
- (第 2 号議案) 2017 年度学会賞等選考結果について
- (第 3 号議案) 「名誉会員」の推薦について
- (第 4 号議案) 生活経済学会新入会員の承認について
- (第 5 号議案) 入会申込書の記載について
- (第 6 号議案) その他

【報告事項】

- 1 第 34 回研究大会開催について
- 2 第 81 回担当理事会開催について
- 3 編集委員会からのご報告について
- 4 その他

【審議事項】

(第1号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について

生活経済学会活性化にかかる取り組み等について審議した。

・共同研究助成について

共同研究助成については、活性化施策案において「本規程は、事業実施状況を勘案し、制定から概ね4年を経過した時点で必要な見直しを行うものとする。」としている。

2014年度より実施し4年を経過したことから、今後の継続について審議した結果、共同研究助成について、現在の形としては2017年度で終了とすることとした。ただし、「地方部会の活性化」という目的については引き続き重要であることを認識し、部会活動費等の弾力的運用も含めて別途施策を検討することとした。

・企画委員会編纂プロジェクトチーム (PT) について

次期企画案について、編纂PTリーダーの米山会長から概要説明があった。

現在のメンバーは、リーダーの米山先生の他、上村先生、小笠原先生の3名であり、今後、企画テーマ「終わりということから生活を考える」について検討していくこととした。

・学会HPリニューアルについて

藤野委員長より、学会HPのリニューアルについて概要説明があった。

特に、会員名簿の代替として、HP上で会員が各自の情報を更新できるプログラムの導入については、今年度中に検討を進め、2018年度予算で実施したいとの意見が出され、承認された。

また、会員間の情報発信・相互交流の手段として、FacebookやTwitter等「SNS」の構築・活用についても今後の検討課題としていくこととした。

(第2号議案) 2017年度学会賞等選考結果について

学会賞等選考委員会の宮村委員長より、2017年度の学会賞等選考結果の報告及び候補者の推薦があり、承認された。

(第3号議案) 「名誉会員」の推薦について

東北部会長より2名、関東部会長より3名の名誉会員候補者の推薦があり、審議の後、承認された。

なお、名誉会員候補者のうち1名は担当理事であり会議に出席していたが、当該議案については審議・採決の対象外とした。

(第4号議案) 生活経済学会新入会員の承認について

新入会員（学生会員1名）より入会申し込みがあり、審議の後、承認された。

(第5号議案) 入会申込書の記載について

入会申込書「研究及び業績」欄に「リサーチマップ」のURLのみ記載している事例について指摘があったことから、可否について審議した。

審議の結果、「研究及び業績」欄のURLのみの記載は不可とし、「URLのみの記載は不可。記載できない場合は業績を一覧できる別紙を添付してください」と注意書きすることとした。

また、入会申込書の改訂について意見が出された。改訂版については学会 HP に掲載する。

なお、推薦者を經由して会員推薦のある場合には捺印は不要だが、本人が提出する場合には推薦者の捺印が必要であるとするのが安全であるという意見があった。これに対して、事務局から次のような実務をとっていることが説明された。すなわち、「推薦者」については、入会申込書に記載されている正会員に事務局より直接連絡して「推薦書」の提出を依頼している。よって申請者が推薦者に無断で入会申込をすることはできないということであるので、今回は書式から単に「印」という文字を消去するというでよいものとした。

【報告事項】

1 第 34 回研究大会開催について

第 34 回研究大会開催について、プログラム委員会の柳原委員長から報告があった。自由論題研究報告については、2 月 5 日を応募締切りとしていたが、18 日まで応募期間を延長することとした。

2 第 81 回担当理事会開催日程について

米山会長から、次回担当理事会開催日程について報告があった。4 月～5 月前半に開催するにあたり、まずは三役で候補日を絞り込み、各担当理事に日程について照会することとした。

3 編集委員会からのご報告について

所用により欠席された小笠原編集委員長に代わり、米山会長から、以下の報告があった。

1. 『生活経済学研究』第 47 巻編集の進捗について
2. 学会誌改革の進捗について
3. 共同研究成果論文の掲載手続きについて

以上